

湖畔で授業 生徒はつらつ

南富良野 中高生混合、英語学ぶ



砂を利用してアルファベットを作る生徒ら

【南富良野】南富良野中と南富良野高の生徒がともに学ぶ英語の野外授業が町内で行われた。生徒らはかなやま湖畔キャンプ場を歩き回りながら、自然の中での学習を楽しんだ。

同高が企画し6月27日に初めて実施。中学3年生7人と高校3年生12人が、中高混合の4班に分かれて取り組んだ。まずは鳥やクモの巣、自転車などを意味する英単語が示され、該当するものを探して写真に収め、発表した。

続いて、キャンプ場内でアルファベットを見つけたら作り作りして、5文字以上の英単語を完成させる課題に挑戦。少なくとも2文字は、自然の中に存在する形を見つけるルールで、生徒は「木と木の間がVに見える」「あの橋はTかも」と盛り上がり上った。砂に寝転んだ生徒と地面を組み合わせて文字を表現する班も。最終的に「FUTURE」や「HAPPY」などの単語を完成させた。

英語が好きで英検2級に挑戦中の三浦雅史さん(18)は「自然を感じながら英語を学ぶのは新鮮。中学生がつまずいたところ

をサポートできた」と話した。授業を企画した同高英語科の林大貴教諭(29)は「教室の中とはまるで表情が違う」と見守っていた。(川上舞)